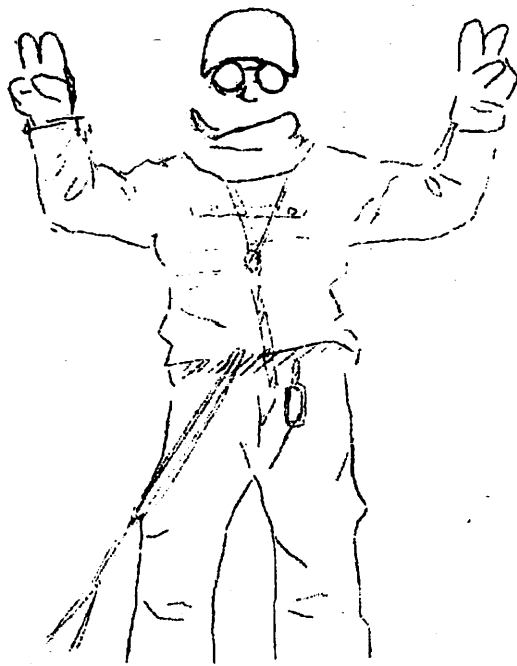


プレ冬山合宿報告書 1979

12月7日~9日

五竜 → 唐松



SAC 信州大学山岳会

# 行動記録

12月7日

- |             |       |                           |
|-------------|-------|---------------------------|
| ◎ 神城駅発      | 7:00  | } 雪なし                     |
| ① スキ一場内     | 8:00  |                           |
| ◎ " "       | 9:00  |                           |
| ◎ 地藏頭       | 10:00 | 雪 1cm ほどしかない              |
| ① 小遠見手前500m | 11:00 |                           |
| ① 中遠見       | 12:30 | } 雪が多くなってきた<br>途中よりわかんを使用 |
| ① 大遠見       | 13:40 |                           |
| ① 西遠見池      | 14:50 |                           |

感想。雪がまったく少なく、スキ  
一場内には 0cm。  
(藤井)

12月 日

7:30 ◎ 出発

ワカンを着用、仏ざ下程度のラッセル

8:30 ◎ 1本目

西遠見と白岳のあん部

10:00 ◎ 白岳頂下、急斜面の長いラッセルであった、  
稜線に出た地点でアイゼンにはきかえる。  
風が強くて苦労した。

10:40 ◎ 五竜山荘、荷物を置いて頂上へ向かう  
途中で2ヶ所のTIX。G1付近の岩と雪の  
ミックスしたリッジ40mとそこから100m  
程行った地点の水平のやせた雪稜。

12:10 ◎ 五竜山頂上、すぐに仏ざかえす

13:00 ◎ 五竜山荘着、下りは風が強くて、視界も  
悪かった。

## 感想

五竜の頂上では天候があまりよくなく残念  
だった。  
始めてアイゼンをはいたので、感激のあま  
りっぱづいてこけそうになった。

(田ブ4)

12月 日

- 8:40 ① 出発。  
風が強く視界が悪い
- 9:30 ② 白岳を下った地点で1本。白岳の下りは雪の下にハイマツがあり、歩きにくかった。
- 10:50 ③ 途中 オキ 1ヶ所
- 12:20 ④ 午 岳の登りの発場で金具を使って登り時間をくう。
- 1:10 ⑤ 唐松山荘
- 2:10 ⑥ ハネ尾根 2350m位の地点
- 3:00 ⑦ ハネ池山荘 アイゼンをはずす  
長い長い長いー
- 5:20 ⑧ スキー場の下着

## 感想

トレースが崩れやすく、トラバースが恐かった。最後の登りのトラバースで、バランスを崩し、落ちたのは恐ろしかったと共に、歩行技術の未熟さを実感しました。

(岩村)

アイゼンがこわれたので御迷惑をおかけしました。最後のスキー場の下りのしんどさは、冬山合宿の最後の日にあってきすものだった。

(田中)